

4 未来の技術をはぐくむ NICT の活動

4 NICT's Activities Cultivate Future Technologies

4-1 2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）展示参加

「Colors for Future ~ ICT スタートアップが魅せるちょっと先の未来～」

4-1 “Colors for Future - The future a little ahead that ICT startups attract -” at “Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan”

安藤 満佐子

ANDO Masako

NICT デプロイメント推進部門アントレプレナー支援室においては、総務省とともに、地域発 ICT スタートアップを支援する「全国アクセラレータ・プログラム（起業家甲子園・起業家万博）」を実施している。

今般、以下のとおり、「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」に出演した。具体的には、

- ① 2025 年 9 月 16 日（火）～22 日（月）の 7 日間にわたり、Future Life Experience において、「Colors for Future ~ ICT スタートアップが魅せるちょっと先の未来～」として、アントレプレナー支援室及びユニバーサルコミュニケーション研究所による NICT の取組の紹介のほか、これまでの「起業家万博」出場者 9 社による体験型の展示を行った。

また、FLE ステージにおいて、

- ② 9 月 16 日（火）に、「アルムナイ・ネットワークナイト」を、
- ③ 9 月 17 日（水）に、2025 年度起業家甲子園の連携大会として、「NICT ネクストアントレプレナーズピッチ supported by スタートアップチャレンジ甲子園×高校生ビジネスプラン・グランプリ」

を開催した。

Entrepreneur Promotion Office, ICT Deployment and Industry Promotion Department has been implementing the [Accelerator Program(Kigyouka Koshien and Kigyouka Banpaku)]. together with the Ministry of Internal Affairs and Communications to support local ICT startups.

Recently, at the 2025 World Exposition Japan (Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan), concretely, (1) From September 16 (Tue) to 22 (Mon), 2025, at Future Life Experience, “Colors for Future-The Future that ICT Startups Will Enchant”, NICT’s initiatives were introduced and nine Kigyouka Banpaku participants held hands-on exhibits. At the FLE stage, “Alumni Network Night” was held on September 16 (Tue), and “NICT Next Entrepreneurs Pitch supported by Startup Challenge Koshien × High School Student Business Plan Grand Prix” was held as a joint competition of Kigyouka Koshien on September 17 (Wed).

1 まえがき

「万博」は世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントであり、地球規模の様々な課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場である。1970 年に日本、そしてアジアで最初に開催された大阪万博（EXPO'70）は日本の高度経済成長をシンボライズす

る一大イベントであった。2025 年大阪・関西万博は、2005 年に開催された愛・地球博に続き、20 年ぶりに日本で開催される国際博覧会である。「いのち輝く未来社会のデザイン Designing Future Society for Our Lives」をテーマに、「Peoples Living Lab（未来社会の実験場）」をコンセプトに、2025 年 4 月 13 日（日）～10 月 13 日（月）の 184 日間、大阪 夢洲において開催された [1]。

4 未来の技術をはぐくむ NICT の活動

部屋	イメージ	展示コンセプト	出展事業者名・出展内容
D6 	ミライノイリグチ	一步先の未来では、みなさんの世界ではどのようにになっているのでしょうか。一足先に体験してみましょう。	● NICTアクセラレータプログラム紹介等 ● 音声マルチスポット再生技術
D4 	ミライノタスケアイ	一步先の未来では、みなさんの暮らしはどうのようになっているのでしょうか。ヒトとヒトとのつながりは形を変えながら広がっていきます。	① プラスヴォイス スマートフォンの遠隔手話通訳サービス ② LOOVIC 声で空間をつなぎその場の知恵や記憶を共有するナビガイド
D3 	ミライノクラシ	一步先の未来では、みなさんの暮らしはどうのようになっているのでしょうか。こんなものがあつたらいいなが実現できているかも。	③ アロマジョン／④ パリティ・イノベーションズ 空中映像・香りディスプレイデモンストレーション：空中映像に触れ香りも体験できる、新しい没入型体験 ⑤ Golden Field 救急現場で必要な6種類のバイタルを、コンパクトなデバイスを用いて迅速に測定
D1 	ミライノイドー	一步先の未来では、ヒトは、モノは、どのように移動しているのでしょうか。近くと遠く。距離はもう関係ないかも？	⑥ パワーウェーブ ワイヤレスで電力を供給する道路模型とワイヤレスで電力を受け取りバッテリを搭載しないEV模型を展示 ⑦ スリーアップ・テクノロジー AIとIoTが連携する、「見える、動く、つながる工場」
D2 	ミライノウミ	一步先の未来では、海や森、自然をどのように観測しているのでしょうか。そして、その情報をどのように活用しているのでしょうか。	⑧ 炎工業 軽量約7kg、組立不要。持ち運び～使用～片づけまで1名で完結できる超小型水上ドローンSwimmy Eyeのデモ動画
D5 	ミライノシャカイ	一步先の未来では、みなさんの暮らしはどうのようになっているのでしょうか。ヒトとヒトとのつながりは形を変えながら広がっていきます。	⑨ yuni まだ使える資源を回収し新しい素材に生まれ変わらせることで、「日本を廃棄大国から資源大国へ再生する」取組紹介

図1 期間展示内容

NICT デプロイメント推進部門アントレプレナー支援室では、「未来の暮らし、未来への行動」をコンセプトとする Future Life Village における Future Life Experience の取組において、9月16日(火)～22日(月)、「Colors for Future～ICTで魅せるちょっと先の未来～」として、地域発 ICT スタートアップによる、ちょっと先の未来を体験可能な展示を行った。また、FLE ステージにおいて、9月16日(火)に、「アルムナイ・ネットワークナイト」、9月17日(水)に、「NICT ネクストアントレプレナーズピッチ supported by スタートアップチャレンジ甲子園×高校生ビジネスプラン・グランプリ」を開催した。

大阪・関西万博 Future Life Experienceへの展示参加

2.1 2025年9月16日(火)～22日(月)、
Future Life Experience
期間展示：「Colors for Future～ICTで魅せる
ちょっと先の未来～」

NICT アントレプレナー支援室及び同ユニバーサル

コミュニケーション研究所の取組をはじめ、起業家万博卒業生9社により、ICTを利活用したサービスによるちょっと先の未来の体験展示を実施した。

今回の大阪・関西万博においては、「2025年大阪・関西万博がめざすもの」として、「持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献」及び「日本の国家戦略Society5.0の実現」を掲げており、「EXPO for SDGs：国連が掲げる「SDGs(持続可能な開発目標)」達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、実現に向けた取組を加速するのに極めて重要な年です。2025年に開催される大阪・関西万博は、SDGsを2030年までに達成するためのプラットフォームになります。」としている[1]。

これを念頭に、展示参加者に関し、SDGs実現への貢献を考慮し、各事業をSDGsの17の目標に照らし合わせ、図1のとおりグループ分けするとともに、各エリアを、該当するSDGsイメージカラーによりカラーリングする演出を行った。

各出展ブースに設置したデジタルサイネージにおけるサービス紹介動画においても、導入部分に、「ミライノイリグチ」、「ミライノタスケアイ」、「ミライノクラシ」、「ミライノイドー」、「ミライノウミ」及び「ミライノシャカイ」とそれぞれのイメージカラーを提示している(図1)。

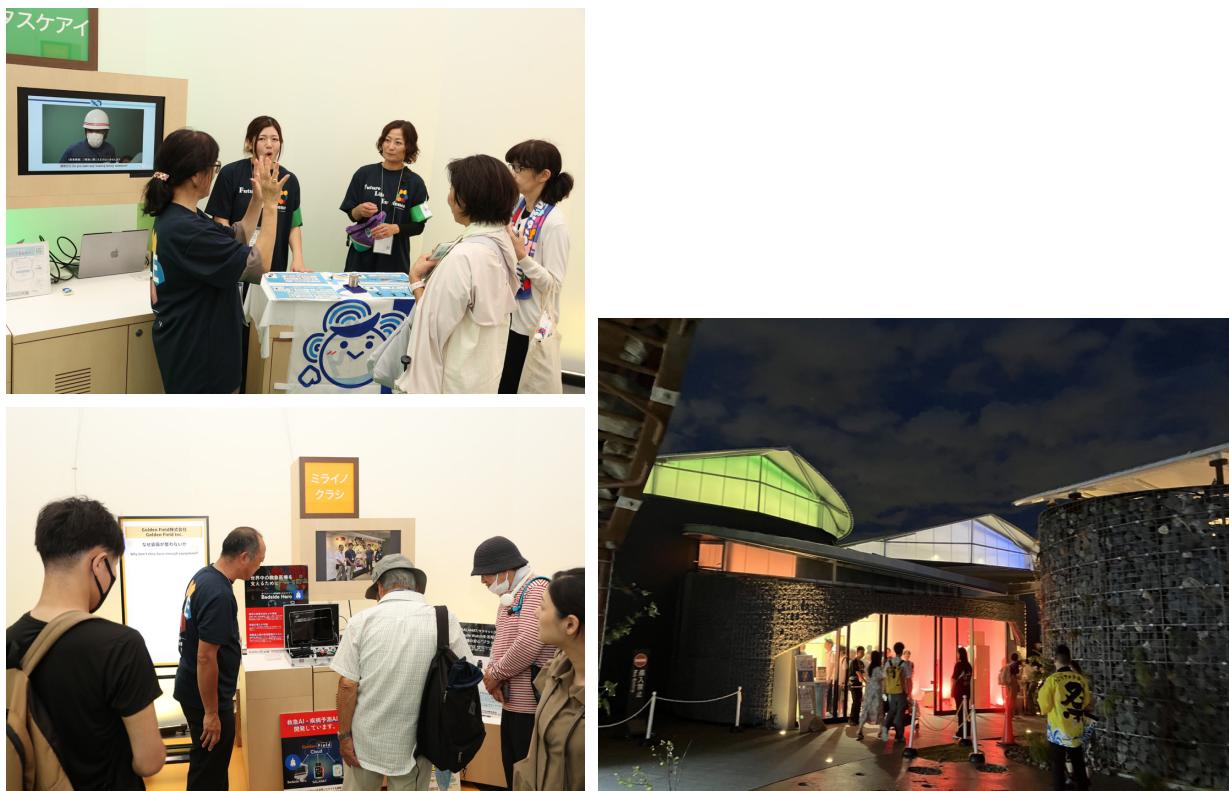


図2 SDGs カラーで彩られた展示ブース

表1 期間展示中の来場者等(人)

展示		来訪者数			
日	展示時間 ※万博開場 9:00-22:00 ※FLE開場 10:00-21:00	万博全体		Future Life Village	Colors for Future ICTで魅せる ちょっと先の 未来
		万博全体	うちAD証		
9月 16日(火)	10:00-21:00	233,900	20,283	12,580	1,456
17日(水)		237,600	20,762	13,820	2,407
18日(木)		240,449	20,561	13,068	1,604
19日(金)		241,390	19,814	12,996	1,902
20日(土)		240,671	20,363	13,032	1,909
21日(日)		236,113	19,608	13,564	2,205
22日(月)	10:00-16:00	246,819	21,486	10,588	1,206
合計		1,676,942	142,877	89,648	12,689
平均		239,563／日	20,411／日	12,806／日	1,812／日

※ 赤外線人感センサーに関し、センサー設置のずれによる不感時間帯があったこと、センサーに関し、集団での来訪者を1名とカウントしてしまうことから、実際の来訪者は計測数より多かったと推測される。

今回の展示は、西口ゲート側の小さな会場ではあったが、シルバーウィーク前後という人出が予想される期間であったこともあり、想定以上の来場者があった(図2、表1)。

また、当該展示会場の入口付近においては、Future Life Experience の万博公式スタンプが設置されてい

たほか、展示場内においても、非公式ではあるものの、NICT、(株)プラスヴォイス及び炎重工(株)がそれぞれスタンプを用意しており、合計4つのスタンプを押印することが可能であることから、スタンプを求める来訪者も多く見られた(図3)。

今回の展示に当たっては、トラブルや苦情等なく、

4 未来の技術をはぐくむ NICT の活動

来場者に「ICT で魅せるちょっと先の未来」をご体験いただくことができた。来訪者から、「見るだけでなく体験できる、万博らしい展示」「楽しくて子どもがとても喜んでいる。」といった感想をいただいた。

今回の期間展示を通じて、スタートアップを応援する機運の醸成や、NICT のプレゼンスの向上にも貢献することができたと考えている。

2.2 2025 年 9 月 16 日(火) FLE ステージ 「アルムナイ・ネットワークナイト」

起業家甲子園は 2011(平成 23) 年度から、起業家万博は、NICT となる前の 2002(平成 14) 年度から実施しており、23 年間で約 800 名の卒業生を輩出している。しかしながら、この人材プールを有機的に活かす同窓会組織が組成されていないことが従来からの懸念となっていた。

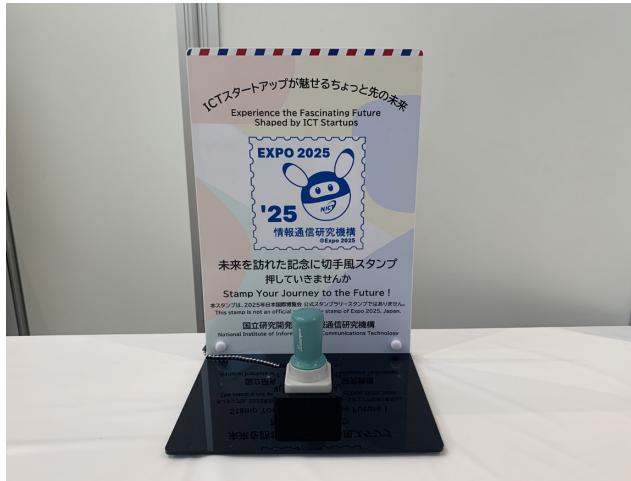


図 3 Nくんスタンプ

そこで、2025 年度において、起業家甲子園・起業家万博卒業生へのヒアリングを実施し、アルムナイ・ネットワーク構築に向けた検討を重ねるとともに、大阪・関西万博の地において、アルムナイ結成を宣言する「アルムナイ・ネットワークナイト」イベントを開催した(表 2)。



図 4 アルムナイ・ネットワークナイトの様子

表 2 アルムナイ・ネットワークナイト

開会宣言	NICT
アルムナイ・ネットワーク活動紹介	NICT
ミニトークセッション 「アルムナイ・ネットワークへの期待」	総合司会：原 亮氏（エイチタス（株）代表取締役） トークセッション モデレータ：杉原 美智子氏 (ICT メンタープラットフォーム事務局代表／フォーアイディールジャパン（株）代表取締役社長) ・メドメイン（株）代表取締役 CEO：飯塚 統氏 ・(株) Alumnote 代表取締役 CEO：中沢 冬芽氏 ・さくらインターネット（株）：島袋 瑞樹氏
対話セッション	ミニトークセッション 3 名に加え、7 名の ICT メンターが参加 ・Coalis GP／(株)マイネット創業者：上原 仁氏 ・さくらインターネット（株）代表取締役社長：田中 邦裕氏 ・Archetype Ventures Managing Partner：中嶋 淳氏 ・(株) jig.jp 取締役創業者／(公財) IchigoJam 財団代表理事：福野 泰介氏 ・(株) T 代表取締役：保科 剛氏 ・Partners Fund 代表パートナー：山田 優大氏 ・D4V ファウンダー：伊藤 健吾氏 (ICT メンタープラットフォーム顧問)

起業家甲子園・起業家万博卒業生3名により、アルムナイ・ネットワーク構築に対する期待感に満ちたミニトークセッションのほか、ICTメンターや、起業家万博卒業生である出展者も交え、起業に関する悩み、相談等、忌憚のないやりとりが広げられ、縦・横・斜めの紐帶の重要性を認識するイベントとなった(図4)。

2.3 2025年9月17日(水)FLEステージ 「NICTネクストアントレプレナーズピッチ supported by スタートアップチャレンジ甲子園 ×高校生ビジネスプラン・グランプリ」

「全国アクセラレータ・プログラム(起業家甲子園・起業家万博)」においては、各地域におけるビジネスプランコンテストを「連携大会」とさせていただいている。各連携大会におけるNICT賞受賞者が、ICTメンターによるメンタリングによりビジネスプランをブラッシュアップし、「総務大臣賞」、「NICT理事長賞」、また、各パートナー企業賞の獲得を目指して、翌年3月の起業家甲子園又は起業家万博に登壇する。

今般、大阪・関西万博という、未来社会をデザインする舞台において、近畿地区のスタートアップの卵の皆さんを応援するべく、2025年度限定の連携大会として、「NICTネクストアントレプレナーズピッチ supported by スタートアップチャレンジ甲子園×高校生ビジネスプラン・グランプリ」(以下、「NEピッチ」という。)を開催した(表3)。

開催に当たっては、これまで大阪府及び兵庫県主催の「スタートアップチャレンジ甲子園」及び(株)日本政策金融公庫主催の「高校生ビジネスプラン・

表3 NEピッチプログラム(敬称略)

開会	
主催者挨拶・応援メッセージ	・国立研究開発法人 情報通信研究機構 NICT 理事長 德田 英幸 ・NICT賞選定ICTメンター： 上原 仁
大阪府知事ビデオメッセージ	吉村 洋文
ICTメンターメッセージ	田島 聰一
NEピッチ前半5チーム	①泰陽 ②かり・ふらわー ¹ ③イニシャルK ④The Super Web ⑤フロンティアズ
〃 後半4チーム	⑥Kumano サポーターズリーダー ² ⑦森田 麻位 ⑧無罪放免 ⑨STEAM 特講 靴下班
ICTメンター クロージングトーク	田島 聰一 中嶋 淳 山田 優大
パートナー企業 取組・賞等紹介	・アイコム(株) ・NTT西日本(株) ・オムロン(株) ・KDDI(株) ・枚方信用金庫 ・(株)堀場製作所
各賞授与	・パートナー企業賞(6) ・近畿総合通信局長賞 ・NICT賞
兵庫県知事ビデオメッセージ	齋藤 元彦
閉会・記念撮影	

表4 NEピッチ登壇者と受賞状況

順	推薦元	団体名	学校	事業タイトル	受賞
1	スタートアップ チャレンジ甲子園	泰陽(タイヨウ)	学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校	タッセイ～タツジンたちの口コミ惑星～	-
2	スタートアップ チャレンジ甲子園	かり・ふらわー	兵庫県立長田高等学校	flography(ログラフィー)	・枚方信用金庫賞
3	スタートアップ チャレンジ甲子園	イニシャルK	大阪府立東住吉総合高等学校(卒)	健康電気シーツKクール&健康電気毛布Kウォーム	・アイコム賞 ・KDDI∞Labo賞
4	高校生ビジネスプラン・グランプリ	The Super Web	兵庫県立国際高等学校	Inter.S(インターワス)	・近畿総合通信局長賞
5	スタートアップ チャレンジ甲子園	フロンティアズ	大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校	食品ロス削減アプリ「LOSS FINDER」	・オムロン賞
6	高校生ビジネスプラン・グランプリ	Kumano サポーター ズリーダー	和歌山県立熊野高等学校	すべての命を救う AEDハートフルシート～全世界へ～。	-
7	高校生ビジネスプラン・グランプリ	森田 麻位	学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校	神社を未来に繋げるアプリ「Kamimi」	・NTT西日本賞
8	スタートアップ チャレンジ甲子園	無罪放免	神戸女学院高等学部	おたスケ	・NICT賞 ・堀場製作所賞
9	スタートアップ チャレンジ甲子園	STEAM 特講 靴下班	兵庫県立加古川東高等学校(卒)	地域と靴下 そして靴下と人をつなぐ通販サイト KAKOCONN	-

4 未来の技術をはぐくむ NICT の活動

「グランプリ」に関し、各主催者により、過去の出場者から、主に ICT を利活用しているプランを中心に登壇者をご推薦いただいた。また、(公財)大阪産業局において、事前にメンタリングを行い、ビジネスプランを更にブラッシュアップしていただいた。さらに、吉村洋文大阪府知事、齋藤元彦兵庫県知事から、登壇者に向けた熱いビデオメッセージをお寄せいただいたほか、ICT メンターからも激励のメッセージが送られた。

NE ピッチにおいては、「NICT 賞」及び「近畿総合通信局長賞」を授与するとともに、総務省近畿総合通信局のご協力により、6 社のパートナー企業による各パートナー企業賞が授与されている(表 4)。

NICT 賞を受賞した「無罪放免」チーム(神戸女学院高等学部)の皆さんには、今後、上原 仁 ICT メンターのメンタリングにより、ビジネスプランを更にブラッシュアップし、令和 8 年 3 月 10 日(火)に丸ビルホール＆コンファレンススクエアにおいて開催される「起業家甲子園」に臨む。また、チームで 1 名が、同年 2 月のシリコンバレー研修に派遣される予定である。

次の社会を創る新しいビジネスプランについて熱意あるプレゼンが行われ、どのチームに対しても惜しみない拍手が送られた(図 5)。



図 5 NE ピッチ表彰式等

3 各所との連携による重層的な取組

今回の大阪・関西万博への展示参加に当たっては、NICT 内外を問わず、非常に多くの関係者にご協力いただき、単なる展示やイベントに留まらず、多面的で重層的な取組となった。改めて、こういった「場」を設けることの重要性を感じるとともに、関係各者のご協力に感謝する。

3.1 NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所との連携

「ミライノイリグチ」ゾーンにおいて、音声マルチスピット再生技術の実演展示を行った。NICT の技術を披露するとともに、まさに「イリグチ」で、言葉の壁のないちょっと先の未来を体験していただくことで、当該展示場における、わくわくするような導入の役割を担った。

3.2 総務部人材開発グループとの連携(若手職員研修)

NICT 総務部人材開発グループとの協働により、万博の様々な面で活用される NICT に関する技術・取組について現地において五感を持って感じていただくとともに、グローバルな来場者に対する体験や取組を説明する経験を通して、今後の NICT の発展に活かしていくことを目的とした「人材育成研修」として NICT のパートナー職員を派遣した。30 名の職員が交替で現地に赴き、来訪者の案内や展示の説明等に従事した。

当該派遣に当たっては、アントレプレナー支援室・人材開発グループにより、NICT のインターネットに研修用サイトを設け、心構えや展示参加者の説明を事前に学習することが可能となるよう配意した。また、2025 年 8 月 21 日に、ハイブリッド形式による事前研修を実施した。

研修生はいずれも事前研修資料やマニュアルを読みこんで研修に臨んでおり、また、当日、更に展示参加者の説明を聞き、機器の操作を試すなどして、万全の体制で来訪者をお迎えしていた。大きなトラブルや苦情もなく、臨機応変かつ丁寧な接客で、来訪者の笑顔が見られ、展示参加者から大きな感謝が寄せられた。NICT の若手職員のポテンシャルの高さを実感する実地研修となった。

事後にアンケートを実施しており、その結果は今後の研修やイベント等の運営に活かすこととしている。

大阪・関西万博という稀有なイベントにおいて、NICT の若手職員が研修として派遣されることは得難い経験であり、彼らの今後の業務遂行に当たって、大きな影響があるものと期待している。



図6 Global Startup EXPO2025 サイト・サイドイベント [5]

3.3 広報部との連携

今回の展示参加に当たり、広報部と連携の上、XやFacebookといったSNSを活用し、事前の告知だけでなく当日の様子等を発信した。

なお、本件については、SNSでの情報発信、NICTのWebサイトやNICT NEWSにおける周知のほか、2025年9月9日に、「2025年日本国際博覧会期間展示とステージ発表のお知らせ－ICTスタートアップが魅せるちょっと先の未来－」として報道発表を行っている[2]。

3.4 総務省情報流通行政局地域通信振興課との連携

総務省のX、Facebookから、事前告知や当日の様子を、総務省アカウントから発信していただいた。

また、同課が担当する「地域社会DXナビ」に関し、取材していただき、記事を掲載していただいている[3]。

3.5 経済産業省イノベーション環境局（Global Startup EXPO 2025）との連携

9月17日(水)・18日(木)、大阪・関西万博内WASSEにおいて、経済産業省・近畿経済産業省・NEDO・JETROにより、「Global Startup EXPO 2025」（以下、「GSE2025」という。）が開催された。世界中のスタートアップエコシステム関係者が集い、世界規模の課題解決に臨むこととして、セッション、ピッチ、展示、ネットワーキングの場が設けられた。

アントレプレナー支援室では、GSE2025と催事開催日程が重複していることから、経済産業省と連携してSNSでの広報や当日参加者の相互送客等を行った。

今回の連携に当たり、上記3.3に記載の9月9日のNICTの報道発表において、以下のとおり、GSE2025を紹介している。

「～また、同期間の9月17日(水)、18日(木)に、

大阪・関西万博EXPOメッセ「WASSE」では、Global Startup EXPO 2025（主催：経済産業省、経済産業省近畿経済産業局、独立行政法人日本貿易振興機構、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が開催される」[1][4]。

経済産業省においても、GSE公式Webサイトにおける関連イベントを紹介するページにおいて、NICTの取組に関し、掲載していただいた（図6）。

同じくスタートアップを支援する立場であり、省庁の壁を超えて、協働する重要性を改めて感じている。

3.6 大阪府、兵庫県、（株）日本政策金融公庫、（公財）大阪産業局及び総務省近畿総合通信局との連携

2025年9月17日(水)に、FLEステージにおいて実施した、「NICTネクストアントレプレナーズピッチ supported by スタートアップチャレンジ甲子園×高校生ビジネスプラン・グランプリ」においては、近畿地区における各者のご協力をいただいた。

大阪府、兵庫県においては、「スタートアップチャレンジ甲子園」から、（株）日本政策金融公庫においては、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」から登壇者をご推薦いただき、（公財）大阪産業局において事前にメンタリングを行っていただいている。

総務省近畿総合通信局には、近畿総合通信局長賞をご用意いただくとともに、管内から6社のパートナー企業をご紹介いただいた。

3.7 パートナー企業との連携

大阪・関西万博の場において、近畿地区の若いスタートアップの卵たちを応援することとして、アイコム（株）、NTT西日本（株）、オムロン（株）、KDDI（株）、枚方信用金庫、（株）堀場製作所に、それぞれNEピッチにおけるパートナー企業賞をご用意いただいた。

謝辞

今回の大坂・関西万博への出展・イベントは、アントレプレナー支援室における単なる出展等にとどまらず、NICT 内外の各所との連携により実現した。

総務省及び同近畿総合通信局、NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所、同総務部人材開発グループ、同広報部。大阪府、兵庫県、(株)日本政策金融公庫、(公財)大阪産業局、近畿地区におけるパートナー企業の皆さん。経済産業省等。また、出展された起業家万博出身者である地域発 ICT スタートアップ 9 社、アルムナイ・ネットワークナイトにご参加いただいた起業家甲子園・起業家万博卒業生及び ICT メンター等、ご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げる。

そして何よりも、NICT ネクストアントレプレナーズピッチに登壇された近畿地区の若きスタートアップの卵の皆さんに、心より感謝するとともに、その未来にエールを送る。

【参考文献】

- 1 公益財団法人 2025 年日本国際博覧会協会 HP,
<https://www.expo2025.or.jp/overview/purpose/>
- 2 NICT 報道発表、"2025 年日本国際博覧会 期間展示とステージ発表のお知らせ – ICT スタートアップが魅せるちょっと先の未来 –,"
<https://www.nict.go.jp/press/2025/09/09-1.html>
- 3 総務省、地域社会 DX ナビ、<https://dx-navi.soumu.go.jp/>
- 4 Global Startup EXPO 2025、<https://global-startup-expo.go.jp/>
- 5 Global Startup EXPO 2025、関連イベント、
<https://global-startup-expo.go.jp/side-event/>



安藤 満佐子 (あんどう まさこ)
デプロイメント推進部門
アントレプレナー支援室
室長